

2020年2月13日

各位

日本マクドナルドホールディングス株式会社  
 代表取締役社長兼最高経営責任者（CEO） サラ L. カサノバ  
 （コード番号：2702 JASDAQ）  
 問い合わせ先 執行役員 IR統括責任者 中澤 啓二  
 TEL 03-6911-6000

## 2019年12月期通期連結決算状況及び2020年12月期連結業績予想について

日本マクドナルドホールディングス株式会社の2019年12月期（2019年1月1日～2019年12月31日）の通期連結業績について下記の通りご報告致します。

### ハイライト

- 全店売上高は5,490億円となり、創業以来の最高売上となる
- 営業利益は+11.9%、経常利益は+7.2%の増益を達成
- 当期純利益は減益となるが、税率の変更や前年の一時的な収益要因によるもの
- 2020年度も積極的な投資を継続し着実な成長を目指す

### 1. 2019年12月期通期連結決算状況

（単位：百万円）

	2019年通期			
	実績	前年実績	前年比	前年比(%)
全店売上高*	549,059	524,203	+24,855	+4.7%
連結売上高	281,763	272,257	+9,506	+3.5%
連結営業利益	28,018	25,045	+2,973	+11.9%
連結経常利益	27,487	25,644	+1,842	+7.2%
親会社株主に帰属する連結当期純利益	16,885	21,939	△5,053	△23.0%

\*全店売上高：直営店舗とフランチャイズ店舗の合計売上高

	2019年通期 前年比(%)
既存店売上高	+4.5%
既存店客数	+2.4%
既存店客単価	+2.0%

2019年度は、これまでに構築した成長のための経営基盤への継続的投資と、①「コアビジネスの強化」、②「成長を加速する取り組み」、③「店舗展開」の3つの分野へ戦略的に投資を行いました。これらの取り組みが相乗効果を発揮した結果、全店売上高は対前年比248億円、4.7%増加の5,490億円となり9期振りに創業以来最高を更新いたしました。

営業利益は前年比約30億円、11.9%増加の280億円となりました。経常利益は前年比18億円、7.2%増加の274億円となりました。当期純利益につきましては、前年比50億円、23.0%減少の168億円となりましたが、これは税率の変更と、昨年度、退職年金制度の変更による一時的な収益を計上したことの影響が主な要因です。

## 2. 2020年12月期 連結業績予想

2020年度も、常にお客様のニーズにお応えすることで、進化を続け、さらなる成長を目指してまいります。

特に、お客様の利便性を向上し、これまでにないおもてなしを実現する「未来型店舗体験」、今後大きく成長が見込まれる「デリバリー」、新規出店と改装やデジタル対応を含む「店舗への投資」、優秀な人材の採用と育成のための「ピープルへの投資」を強化いたします。

全店売上高は創業来最高となった2019年を上回る5,710億円を目指してまいります。

(単位：百万円)

	2020年通期	
	業績予想	対前年比
全店売上高	571,000	+4.0%
連結売上高	287,000	+1.9%
連結営業利益	29,000	+3.5%
連結経常利益	28,500	+3.7%
親会社株主に帰属する連結当期純利益	18,200	+7.8%

以上

※この資料は兜倶楽部、東京商工会議所記者クラブ、外食産業記者会に配布しております。